

滋賀県地域防災計画(原子力災害対策編)の見直し案の概要について

◇ 計画の見直し

趣旨
<p>福島第一原発の事故では、EPZの範囲を越える広い範囲に放射性物質等が放出され、影響が出ていることから、原子力発電所等が多数立地する福井県で万一の事態が発生した場合、本県への影響が懸念される。</p> <p>このため、近畿1,400万人の水源地である琵琶湖を抱える滋賀県としては、県民の原子力災害への不安を払拭し、安全・安心を確かなものとするため、原子力災害対策を強化し滋賀県地域防災計画(原子力災害対策編)を見直しする。</p>

見直し検討委員会	
<p>委員長：林 春男 京都大学防災研究所教授 委員：学識者、市、関係機関、NPO 計16名</p>	意見調整
	市 町
<p>第1回：5月19日 基本的な考え方、行程表の提示</p> <p>第2回：9月14日 地域防災計画骨子の検討、環境放射線モニタリング体制の検討、放射性物質拡散予測の検討</p> <p>第3回：11月25日 放射性物質の拡散予測結果の報告、防災対策を重点的に実施すべき地域の考え方の検討、放射線モニタリング体制の検討</p> <p>第4回：2月3日 地域防災計画原子力災害対策編の見直し(案)の検討</p>	<p>5/24 市町担当課長会議</p> <p>9/13 市町担当課長会議</p> <p>← 11/18 市町担当課長会議</p> <p>11/22 副市長・副町長会議</p> <p>12/28 防災会議</p> <p>1/31 市町担当課長会議</p>

県民の生命を守ることを最優先に緊急的な対応として下記の事項の見直しを行った。

検討内容
<p>○避難計画の策定 ・放射性物質の拡散予測結果を踏まえ、避難計画や防災対策を重点的に充実すべき地域の検討</p>
<p>○モニタリング体制の見直し ・モニタリングポストの設置の考え方の検討 ・環境放射線モニタリング計画の検討</p>
<p>○リスクコミュニケーションのあり方の検討 ・原発事故発生時に、正しい情報に基づき、的確に行動できるよう情報収集伝達や知識の共有などリスクコミュニケーションのあり方の検討</p>

スケジュール
<p>H24年2月10日 計画見直し検討委員会委員長から提言書を提出 H24年2月15日 原子力防災フォーラムの実施 H24年2月15日～29日 県民からの意見募集の実施 H24年2月～3月 防災関係機関からの意見取りまとめ H24年3月18日 原子力防災訓練の実施 H24年3月26日 県防災会議の開催(予定)</p>